

北海道の蠅々蠅とその分布 (予報) 高田春夫・門馬榮治・中原 皓 (北大・理・動)

北海道に於ける蠅々蠅の分布研究について餘り詳細になされていない。筆者等は先ず道南、道中央部及び利尻、禮文兩島方面に採集を行い更に數種 (*D. melanogaster*, *D. auraria* B, *D. rufa*, *D. lutea*, *D. hydei*, *D. histrio*-B etc.) の分布を知ると共に、大雪山に於ては *Dorsilopha* に屬するものと考られる一新種 5 個體を得たので、こゝに發表する。これは標高 1200 m 附近の原始林より得られた *D. busckii*-like sp. で頭部、胸部の斑紋及び脛節の preapical-bristle 等が *busckii* と近似していて明らかな *Dorsilopha* と考へて良いと思う。然しながら、翅、背中剛毛、腹部の斑紋、外部生殖器の形態其他が *D. busckii* とは相當の違ひが見られるので、これとは別の一新種と考へられたのである。又、*D. histrio*-B とは、同じく大雪山旭岳で得られたもので、外部生殖器の構造が、雄に於ては Hsu (1949) の記載と少しく相異し、雌の導卵突起に於ては、手持ちの *D. histrio* のそれとは、やはり多少の相違があつたのである。猶、*D. transversa* の導卵突起を比較したところ、この種の雌にも二型のあることが判明した。

(問) *Dorsilopha* 屬新種の内部形態は如何。(岡田豊日)

(答) 内部形態に就きましては最近とれたばかりですので未だよく見ておりません。